

令和元年度 第2回 三郷市立児童館運営協議会議事録

日 時 令和元年11月15日(金)

場 所 三郷市役所 本庁舎7階 農業委員
会議室

出席者：児童館運営協議委員

主任児童委員：北澤 富美、山崎 富枝、岩間 かおり

社会教育団体：小林 久美子、岡本 徳子、濱松 紀子、桜井 幸代

保護者代表：見崎 奈穂、石原 沙織、野口 由紀子

知識経験者：榎本 務、田崎 研志

公募による市民：高島 亜也子

出席委員 13名 /13名中

事務局：子ども未来部 妹尾部長

子ども支援課 大村課長、島村課長補佐

岡安子ども支援係長、秋本主任

児童館 北児童館 土屋館長

南児童センター 松村館長

早稲田児童センター 唐澤館長

1. 開 会

大村課長

2. 挨拶

妹尾部長

3・議 事

1) 令和元年度前期(4月～9月)事業報告について

土屋北児童館 館長 説明

松村南児童センター 館長 説明

唐澤早稲田児童センター 館長 説明

2) 令和2年度事業計画(案)について

土屋北児童館 館長 説明

松村南児童センター 館長 説明

唐澤早稲田児童センター 館長 説明

3) 令和元年度前期モニタリング評価について

岡安子ども支援係長 説明

4) その他

- ・児童センター、児童館の周知について
- ・指定管理者選定について

岡安子ども支援係長 説明

4. 閉 会

見崎副会長

【令和元年度第2回児童館運営協議会議事内容】

1)「令和元年度前期事業報告について」

①北児童館

団体利用は0名に訂正。昨年度の前期と比較し、半分以上に減少。内訳と現状を報告。

各月の主な事業：4月[新一年生ウェルカムパーティー]、5月[らっこひろば]、6月[開校記念日事業（スライム作り）]、7月[バスハイク（有明パナソニックセンター東京リスーピア&江戸東京博物館）]、8月[こどもフェスティバル]、9月[おいしんぼクラブ]について報告。

②南児童センター

昨年度の前期と比較すると1700人の減少。内訳と現状を報告。

各月の主な事業：4月[こどもまつり実行委員]、5月[ゴールデンウィーク企画 よさこい真来寿さんと踊ろう&おせんべい焼き体験]、6月[こどもまつり]、7月[流しそうめん]、8月[ハンドボール&ボッチャ体験]、9月[こどもクッキング]について報告。

③早稲田児童センター

昨年度の前期と比較すると5000名の減少。内訳と現状を報告。

各月の主な事業：4月[スポーツをしよう]、5月[グルメイト]、6月[開校記念日事業]、7月[早稲田保育所のお友達と遊ぼう]、8月[お泊り会]、9月[敬老の日工作]について報告。

委員からの意見、質疑等

委員：昨年度は北児童館のこどもまつりに参加させて頂き、今年度は南児童センターと早稲田児童センターのこどもまつりに参加させて頂いた。毎回思うが、とても賑やかで職員の苦労とアイデアに驚かされている。北児童館の開催時期はとても暑かったが、年々増していく温度に対して開催時期の見直し等は考えていないのか。

北館長：5年ほど前は6月開催だったが南児童センターのこどもまつりが同じく6月開催だった為、8月にずらしたという経緯があった。今回も、8月に選挙があり日程が重なってしまうことを考慮して9月に時期をずらすかどうかを検討したが、結局8月に開催した。色々検討しているが、事業の兼合から他の月にずらすのは難しいのが現状である。

委員：今までと地区が違うので対象になる小学校等が異なってくると思うが、出来れば外出しやすい時期があれば検討していただければと思う。

委員：一時期来館者が増えた時期から一転して、児童館全体の来館者が減少傾向にある。理由としては学校の授業や幼稚園の行事との調整、北児童館に関しては移転などが考えられる。仕方ないと思う反面、一つひとつの事業を見ると例えば中学生の参加が月に1人であったり、事業を行っても参加人数が1桁であったりと成功であるかどうか難しい。ニーズが異なってきており、来年度から変更が必要なのか。臨機応変に対応しているようではあるが、イベントに対するニーズの見直しが必要なのではないかと思われる。また、子ども達の喜ぶ顔が見られれば参加人数が5人でも良いという気持ちもあるが求める物が違うのであればそちらに変換しても良いのでは。

例えば北児童館であれば今までのニーズに合わせたものではなく、新しく来館した幼児親子向けにし

ていくのもひとつではないかと思う。今が見直し時期の1つでは。また、他施設では熱中症対策も多く行われている。幸房小学校では、夏のキャンプを外で行わず、室内で行うなどの対応をしている。真夏のイベントの見直しなどもあるかと思われる。そのあたりの考慮が求められるのではないか。

事務局：特に今、答えを求めるというわけではなく、これからの目線を変えていくということで良いか。

委員：来館者数を見て、減少数に衝撃を受けた。早稲田児童センターは小学生が2000人減少しているというのは悲しい現状だと感じた。地域として子どもが少なくなっているという状況ではあるが、他にも子どもたちが通信ネットゲームにはまってしまっているというような点が他の地域でも問題として挙げられており家から出ない子どもたちが増加している。そうすると、子ども達の体力の発散の場がなくなってしまう。

事業報告を見るとマンカラ大会など頭を使う良い事業があるにも関わらず、参加人数が1人2人と奮わず残念な結果になってしまっている。しかし、子ども達も放課後に行くとなると時間が無かったり、学校行事で大会等があると練習があり中々遊びに来ることができない。

心身的に発散できる場所として児童館はとてもいい場所だと思うので、まずは保護者の目線から変えて通信ゲームに対する注意を呼びかけていくなどが必要だと感じた。三郷市では現状16歳未満が出来ないはずのゲームが流行してしまい、それによって友人関係のトラブルに発展している。市を挙げて保護者に注意を深めていくのも大切だと感じた。その中で子ども達に外で遊ぶことの必要性を説き、児童館に目を向ける機会ができるのではと感じた。

来館者数の減少報告を受けて、変わってきたことを考えたところ、今の子ども達は外に出ず家の中で過ごすことの方が多いのではと思った。保護者としては、外や児童館で元気に遊んでいる姿を見ると地域の安心感を覚える。そういった意味で子ども支援課の力を借りて今後そういった発信をしていただけたらありがたいと思う。

事務局：前回も、多くの良い企画があるにも関わらず参加者が少ないことについて様々な案が挙がった。

周知の拡大に関しては子ども支援課が検討しており、各児童館もSNSでの情報発信や学校に向けてポスター配布等前向きな努力が感じられる。前進しているとは思いますが、来館者数の減少に関しては例えば早稲田児童センターの場合は空調工事で3週間の休館を行った関係で減っているということや単に児童数の激減だけではなく更なる改善案が必要なのではないかと。

子ども支援課としては事業のニーズは3館合同会議を行う際に話し合い、新たな展開や参加数が少ない事業に関しては実施を見直していくという形で児童館3館を挙げて考えていきたい。また、原因の1つとして通信ゲームの流行が挙がったがそちらに関しては学校と連携を取ってこれからのことについて検討していければと思う。

委員：人数が減少しているということだが来館者数に天候は関係しているのか。

私は南児童センターの近くに住んでいるが来館する父兄は自転車を使う方がとても多い。雨の日には自転車に乗る人は少ないと思うが悪天候の際、市の施設に簡単に行けるバスはあまりないように思う。東京都にある市営や区営の施設の多くはバスが止まるが三郷市には無いのか。戸ヶ崎地区には市役所に確実に行くルートがない。折角、三郷中央駅付近に様々な施設が増えてきたが、向かう手段が自転車しかないことを考えると児童館に遊びに行く場合でもやはり雨の日は減少しているのではないかと。南児童センターを訪れた際も、駐車場が少ない為か駐輪場は自転車で埋まっていた。例えば、イベントを行う日が雨だった場合、自転車で来館する方が来られなくなるので必然的に参加者は減少するのではないかと。現状、そういった施設へ向かう交通手段がない為、三郷市に検討して頂きたい。

事務局：交通網の関係については、以前三郷中央駅を中心に交通インフラの整備を行う計画があったがバス会

社の人員不足などもあり中々実現は難しい状況。市の施設は地域を繋ぐ拠点というところもあるので、こういったご意見を頂いたということに関してはまた検討していきたい。

委員：来館者数が少ないことが気がかりだった。子どもと図書館に遊びに行った際に工作の実物が置いてあり、それを見て参加したいと言っていた。子どもが学校から貰ってくる児童館の手紙にも文字だけではなく写真等を入れて貰えると子どもにも分かりやすく事業への興味が沸くのではないかな。

北館長：当児童館でも職員間でそういった話が出ており、できるだけ写真等も取り入れていきたい。

委員：ゲームに夢中になっていて外に出ない児童だけでなく習い事が増加して来られない児童も多いのではないかな。また、ゲームに夢中になっている子ども達にも来て貰えるように、アナログ的な遊びと子ども達が夢中になっているものを組み合わせて興味を引いてみるのはどうか。ゲームの件も、ただ「駄目だ」というだけでは子ども達は外に出て行かないと思うのでまずは児童館に足を運んでもらい、実際に遊んで楽しいという経験を得てから遊びの幅を広げてみるというのはいかがでしょうか。

委員：子どもに「駄目だ」といっても中々やめられないので、それを逆手にとって今の子ども達が夢中な物と手作りのおもちゃを融合させて遊びを作るなど。周知の方法についてはSNSだけではなくスーパー等に貼ってあると買い物をする保護者は見る可能性がある。色々な形で周知の方法を考えてもよいのでは。

2)令和2年度事業計画（案）について

①北児童館

瑞沼市民センターの3階に移動したことでスペースが狭くなっていることと市民センターの一部を間借りしているという状況から大掛かりな準備が必要なお化け屋敷等の事業は実施できないものもある。今回は概ね今年度と同じ事業を載せてある。事業そのものの名称や形は変わらないが内容については小学生や幼児親子のニーズに合わせて実施していきたいと職員間で話している。来年はオリンピック・パラリンピックが開催されるのでそちらとも関連付けてアピールしていければと思う。今年度の反省を基に少しづつ変えていければ。

②南児童センター

先ほど説明にもあった通り、指定管理者選定中ということで募集要項に基づいた事業計画になっている。今後は募集の仕方や周知の仕方を考えていけたらと思う。特に事前申し込みが必要なものに関しては対象の小・中学生に予定を尋ねると「忙しい」と言われることが多い。ただ、事前申込型の事業には前準備があり人数が確定しないと材料等を準備することが出来ない。当日来館して実際の様子を見てから参加申し込みが出来る自由参加型の事業は当日予定無く来館した児童が気軽に参加でき、人数を増やしていくことができるのでそういった形のを今後増やして、また来館してくれるような児童センターにしていけたらと思う。

③早稲田児童センター

南児童センターと同じく選定中の為募集要項に載っているもののみ。季節行事の工作や講師に依頼していたスポーツ行事等を継続して行っていけたらと思っている。今年度から始めた、小学生対象のオセロ大会やマンカラ大会、折り紙で遊ぼう等も引き続き開催出来ればと思う。また他館同様、オリンピック・パラリンピックに関連づいた事業の展開やおたよりの書式についても今までのものにとらわれず子どもが見ても分かるようなものに変えるなど職員間で話し合っていきたい。

委員：ポッチャやスポーツ鬼ごっこがすごく好評だったと聞いた。スポーツ鬼ごっこに関しては4年ぶりの開催と言う事だったが今後の定番事業にしていけたらいいのではと思った。

南館長：講師はミニソフト等の指導もして下さっている方で子ども達が遊ぶ為にポッチャ用具の購入もしてくれた。職員がルールを覚えれば講師不在でも出来るので覚えて定番化していきたいと思う。

3) 令和元年度前期(4月～9月) モニタリング調査について

岡安子ども支援係長から説明

南児童センター・早稲田児童センター10月1日に施設を訪問し、モニタリング調査を行った。

両児童センターは指定管理を行っている施設の為、三郷市指定管理者モニタリング要領に基づき合計点を100点満点で評価する。

両児童センター共設置から20年以上経過している為、修繕箇所が多くなっている。早稲田児童センターに関しては先ほど説明があった通り5月に3週間閉館し、エアコンの大規模改修工事を行った。

南児童センターについては早稲田児童センターに比べて部屋数が少ない為、物をしまうスペースが少なく、空き部屋の活用ができないという点がある。評定合計が100点満点とした場合の評定は南児童センターが71点、早稲田児童センターが73点となった。

委員からの意見、質疑等

委員：評価の点数で書かれているが南児童センターの情報公開の取り扱いが5点から3点になっているが、なぜ評価が悪くなっているのか。同じ人が評価しているのか。

事務局：モニタリング要領があり、指定管理を行っている各施設を対象に実施している。通常5というのはあまりつかない数字で、通常通り行っていれば3になり、優れていれば4、5という形で評価が上がっていく。前は5という数字をつけたが、他施設との兼ね合いで今回は3を付けさせて頂いている。前回と数字は異なっているが、個人情報の取り扱いについて問題があるというわけではなく、あくまでも他施設の状況に合わせたということである。

事務局：指定管理のモニタリングについては他の公共施設でも同様の評価基準で行っており、施設全体の評価のばらつきを抑える為に統一させた結果であるのご理解いただきたい。

4) 「その他」

事務局：前回の運営協議会で入館者の減少について、乳幼児の集まる検診の場で周知を行った方がいいのではないかという意見を頂戴したが、それを受けて子育てパンフレットを作成した。児童館や児童センターだけではなく子ども支援課が行っているつどいのひろばや子育て支援センターを含めて掲載している。配布に関しては健康推進課にお願いをしている。

早稲田児童センターと南児童センターの指定管理者の選定に関しては、本年7月に広報及びホームページにて募集を掛けた。その後、両児童センターで現地説明会の実施、指定管理者募集に関する質問事項の受付後、指定管理者申請書の受付、市の企画調整課及び子ども支援課が事務局となり書類審査による一次審査の実施、通過した指定管理者によるプレゼンテーションを実施した。

12月の議会にて指定管理者の議決と告示。12月下旬に市のHPにて決定のお知らせ掲示。来年2月に決定した指定管理者との協定の締結と広報の掲載、その後引継ぎがされ、4月から業務開始となる。

質疑等なし

以上